

拉致問題について考える講演会

札幌で9/7開催 講師は荒木和博氏

講演会「北朝鮮・金正恩はどうか そして拉致被害者は」（共催・月刊「正論」、草莽志塾）が9月7日、札幌市中央区の「かでる2. 7」（北海道立道民活動センター）で開かれます。月刊「正論」では、講演会の参加者を募集します。講師は、特定失踪者問題調査会代表で拓殖大学海外事情研究所教授の荒木和博氏です。

北朝鮮による日本人拉致問題をめぐっては、政府が解決に向けた努力を続けていますが膠着（こうちやく）状態となっています。

荒木氏は北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会事務局長を経て、現在は特定失踪者問題調査会代表、拓殖大学海外事情研究所教授などを務めています。

さらに北朝鮮向けラジオ放送「しおかぜ」で、拉致被害者および拉致の可能性のある失踪者への呼び掛けを継続実施しています。

講演会では、拉致問題に長年取り組んでいる荒木氏とともに、日本はいかに取り組むべきか、国民はどのような覚悟を持つべきかなどについて考えます。

【日時】9月7日（土）午後5時半～7時半

【場所】かでる2. 7（札幌市中央区北2条西7丁目）

【参加費】2000円（当日会場でお支払いください）

【募集人数】20人



【参加申し込み】産経新聞社正論調査室（電話 03-3275-8924、担当：鈴木）まで。